

# 輝多っ子

文責：高萩北中学校事務局

令和4年10月吉日発行

発行：高萩北地区学校運営協議会

事務局：高萩北公民館、高萩北小、高萩北中

【令和4年度第3回学校運営協議会報告】

## できるときに、できることを



○地域学校協働活動の具体的な取組方についてそれぞれの立場から今までの活動を整理し、来年度の具体的な活動について考えました。

- ・青少年健全育成の会の活動はそのまま活かしたい。小・中学校の花植え、パトロール、地域清掃、卒業講話、BJサミットなどを続ける。
- ・昔遊びやミシンの指導などに関わる人を募集し、リストを作って、公民館が人をつなぐ役割をしたい。公民館だよりを活用して周知する、人員をストック（名簿一覧作成）しておき、活躍する場面で呼びかけるなどもいい。
- ・保護者としても、突然「明日参加してほしい」は難しいが、前もって周知されていれば参加できる。参加していいかどうかははっきり知らせる。学校だより等で年間計画や予定表に記載する。
- ・自分たちの子どもを自分で守る気持ちがあるかどうかが大変重要。通学路の見守りをしているだけでも挨拶をする保護者ばかりではない。
- ・見守り活動は長い年月積み重ねてきているからか、他の地区では若い人も多く参加できている。高萩北地区は年長者が担ってきた経緯がある。
- ・推進委員としては、無理をしないでやっていきたい。活動を知らせて、来た人と一緒に活動する。「出なければいけないのか」と聞かれるが、出られるときでいい。その連携を支えていくのがこの協働活動本部だろう。
- ・出たい人が出られるように、予め計画を知らせる。これが次年度のポイントになる。
- ・人と人との繋がりが大切。顔をつきあわせて話し合う場を設けたい。
- ・地域住民同士の繋がりが薄くなってきていると感じる。学校や公民館が起点となって活動を進めていく。



<それぞれの部署で関わってきた活動>

青少年健全育成会・・・地域パトロール、花植え、地域清掃、ふれあい音楽会、卒業講話、BJサミット、主張大会、音楽のつどい、昔遊び、ミシニングゲストティーチャー、図書ボランティア、絵手紙、学校の除草、ペンキ塗り、落ち葉拾い

P T A・・・資源回収、地域の集い、栄養指導、カルタ大会、フレンドリースクール

スポーツ少年団・・・子どもへのヘルメット指導、相撲大会

公民館・・・ジャンプ大会、各種講座

次回の学校運営協議会でこれらをまとめ、次年度の活動を整理していく。